

事業所名：グループホームゆうき

作成日：2025 年 1 月 11 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先 順位	項目 番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	49	・ホームの玄関(4F)から出かける事を意識し、敷地内の散歩や外気浴、月2回の移動販売の利用も含め、少しでもホームを出る事により、入居者、職員ともに気分転換ができるように考えている。	・少しの時間でも気分転換として、敷地内での散歩、外気浴をする時間を作る	・フリーの勤務者がいる日は、1日を通し2人でも1Fへ降り、外気浴、敷地内の散歩行う(5分から10分程度) ・外気浴、散歩行った日はカレンダーへ記入 ・日用品購入時には、月2回の移動販売利用できる入居者は利用する。 ・一人一人の「日課表」の中に短い時間でも外気浴、散歩の支援時間を記入	12 ヶ月
2	26	・「ご本人の要望」、「ご家族の意向」とともに。アセスメントの「場合によってはできそう」の視点を増やしながら、短期目標に繋げていく。	・アセスメントの「場合によってはできそう」の視点を増やし、短期目標につなげていく	・生活歴、本人の要望を聞き取り、日常の行動、動作を観察しながら、できそうな事をアセスメントへ記入していく。 ・どんな支援をすればご本人ができるのか、ミーティングで話し合い統一した支援を行っていく。	24 ヶ月
3	11	・法人本部の理事長、介護部長との面談、話し合いの機会を作り、人員体制の状況報告、職員個々の要望等を報告し、よりよいケアが行える環境作りを行っていく。	・3か月に1回理事長、各事業所の管理が行っている会議にリモートで参加する。	・リモートができる環境設定し、3か月に1回の話し合いに参加。 ・管理者または、ユニットリーダーが参加する。 ・職員個々の要望等ある時は、リーダーが事前に取りまとめておき、ミーティングで回答若しくは、個人へ回答行う。	24 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月